

# いたくら 議会だより

## 今月の 主な内容

- ◆3月定例会可決議案 ..... 2 P
- ◆平成28年度予算審議 ..... 4 P
- ◆一般質問（5人） ..... 8 P
- ◆臨時議会 ..... 14 P
- ◆町政へ一言 ..... 16 P

2016 5 / 1

第137号

うららかな春の陽射しがふりそそぎ  
桜の花がまちを彩ります

谷田川の桜づつみ

◆議会初日 条例改正及び補正予算

**Q 市川議員**  
障害児自立支援事業の地域生活支援を370万円減額す

**Q 福祉課長**  
今年度の臨時福祉給付金の非課税者を基にして、平成28年度中に65歳以上になる方が対象となり、支給金額は3万円、4月から申請の受付を開始して、審査し、6月頃までには支給していきたいと考えている。

**Q 小森谷議員**  
年金生活者等支援給付金給付事業とあるが、対象となる人と給付の時期はいつ頃になるのか。

**◆板倉町一般会計補正予算(第6号)**  
**主な補正予算質疑**  
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3,811万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を58億6,221万4千円とするもの。

**Q 福祉課長**  
利用する人がいないとか、利用したいサービスがないとか、利用したいが必要とするサービスがないということが原因か。

**Q 荒井議員**  
固定資産税の歳入として、家屋が1千万円、償却資産が3千700万円追加とあるが、その具体的な要因は何か。

**Q 戸籍税務課長**  
家屋については、200㎡以上の非木造建築物を群馬県が評価することとなっており、その評価が確定したことによるもの。償却資産については、申告により課税することとなるため、年度当初に予算を見込むことが難しい。申告の結果として、追加となつた。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 福祉課長**  
当初予算で見込んでいたが、より充実した内容で国の「まち・ひと・しごと創生事業」の先行型として、平成26年度の繰越事業としたため、全額402万円を減額することとなった。

**Q 小林議員**  
合併処理浄化槽設置補助金が232万円減額とあるが、申請が少なかったのか。申請

**Q 本間議員**  
橋梁長寿命化事業が160万円減額されたのはなぜか。また、どのような事業を行う

**Q 環境水道課長**  
毎年度、63基の設置を基本として予算を計上しているが、今年度は、53基程度となる見通しであるため、減額となった。

**Q 黒野議員**  
体育館内高鉄棒床基礎工事として100万円を追加しているが、2年前に行った体育館の大規模改修工事の時に対応すべきものであつたかと思うがどうか。

**Q 栗原町長**  
ご指摘のとおり、当時器械体操部の男子がいなかったこと、基礎の再建がされなかったことが原因である。2年前に慎重な対応をしていれば補正と言うことにはならなかった。出来るだけ早くということ、平成28年度の予算ではなく、3月補正とした。

**Q 延山議員**  
はばたけぐんまの担い手支援事業が435万円減額されている。逆に追加が出るぐらいの対応をしてもらいたい。

**Q 都市建設課長**  
国からの補助金が減額されたことによるものであり、事業内容としては、橋梁の点検業務と修繕工事の2つがある。

**Q 産業振興課長**  
台風18号による調査の結果、直接的に被害を受けた方からの申請により、県と町からの補助金であり、対象者は7人となっている。

**Q 総務課長**  
数を教えて欲しい。

**Q 青木議員**  
法人町民税が減額されているが、税制度改正が原因か。

**Q 戸籍税務課長**  
税制度の改正が原因ではなく、主に2つ法人が影響している。2つの法人で約4千万円が減額となった。

**Q 産業振興課長**  
群馬県の補助事業であり、補助のハードルが高いため、1件が該当しなかった。農家さんに制度の内容をしっかり説明することで、今後努力をしていきたい。

**Q 小田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 福祉課長**  
当初予算で見込んでいたが、より充実した内容で国の「まち・ひと・しごと創生事業」の先行型として、平成26年度の繰越事業としたため、全額402万円を減額することとなった。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 本間議員**  
橋梁長寿命化事業が160万円減額されたのはなぜか。また、どのような事業を行う

**Q 環境水道課長**  
毎年度、63基の設置を基本として予算を計上しているが、今年度は、53基程度となる見通しであるため、減額となった。

**Q 黒野議員**  
体育館内高鉄棒床基礎工事として100万円を追加しているが、2年前に行った体育館の大規模改修工事の時に対応すべきものであつたかと思うがどうか。

**Q 栗原町長**  
ご指摘のとおり、当時器械体操部の男子がいなかったこと、基礎の再建がされなかったことが原因である。2年前に慎重な対応をしていれば補正と言うことにはならなかった。出来るだけ早くということ、平成28年度の予算ではなく、3月補正とした。

**Q 延山議員**  
はばたけぐんまの担い手支援事業が435万円減額されている。逆に追加が出るぐらいの対応をしてもらいたい。

**Q 都市建設課長**  
国からの補助金が減額されたことによるものであり、事業内容としては、橋梁の点検業務と修繕工事の2つがある。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 本間議員**  
橋梁長寿命化事業が160万円減額されたのはなぜか。また、どのような事業を行う

**Q 環境水道課長**  
毎年度、63基の設置を基本として予算を計上しているが、今年度は、53基程度となる見通しであるため、減額となった。

**Q 黒野議員**  
体育館内高鉄棒床基礎工事として100万円を追加しているが、2年前に行った体育館の大規模改修工事の時に対応すべきものであつたかと思うがどうか。

**Q 栗原町長**  
ご指摘のとおり、当時器械体操部の男子がいなかったこと、基礎の再建がされなかったことが原因である。2年前に慎重な対応をしていれば補正と言うことにはならなかった。出来るだけ早くということ、平成28年度の予算ではなく、3月補正とした。

**Q 延山議員**  
はばたけぐんまの担い手支援事業が435万円減額されている。逆に追加が出るぐらいの対応をしてもらいたい。

**Q 都市建設課長**  
国からの補助金が減額されたことによるものであり、事業内容としては、橋梁の点検業務と修繕工事の2つがある。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。

**Q 島田議員**  
子ども・子育て支援事業を402万円減額するとあるが、当初の見込みより対象者が少なかったのか。

**Q 針ヶ谷議員**  
農業災害対策事業費補助金を69万円追加とあるが、どのような内容なのか。



平成28年第1回板倉町議会定例会が、3月3日から18日までの16日間の日程で開催されました。今回の定例会では、諮問2件、同意1件、専決処分事項の承認2件、条例の制定議案5件、改正議案10件、補正予算議案6件を含む28議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、平成28年度一般会計予算議案及び各特別会計予算5議案については、予算決算常任委員会へ付託され、その中で集中的に審議されました。

3/3(木) 議会初日

# 一般会計・特別会計の補正予算を可決 板倉町農産物直売所の指定管理者を指定 一般質問には5人が登壇

消費生活センター  
全国一定の質を整備

## 条例制定

◆板倉町消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について  
消費者安全法の一部が改正されたことに伴い、どこに住んでいても一定の質の消費生活相談が受けられるよう、消費生活センターの設置及び運営並びに情報の安全管理について、全国的に体制を整備するということから、条例を制定するもの。

## 条例の一部改正

◆板倉町産業施設及び商業施設誘致促進条例の一部改正について  
板倉ニュータウン産業用地等の企業誘致促進を目的とした町独自の各種優遇措置を講ずる条例の一部を改正するものであり、地域再生法の一部改正により制定される地方税の優遇措置の対象となるものを優先させるよう一部改正するもの。

## 今村議員

群馬東部水道企業団が設置されることで定数を削減するというが、現在の公営企業職員が何人いて、何人削減することになるのか。また、水道事業が企業団に移行するのであれば、課の名称も改正する必要があるのではないか。

## 指定管理者の指定

◆板倉町農産物直売所の指定管理者の指定について  
板倉町公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例に基づき公募を行い、選定委員会により候補とされたPICO株式会社、代表取締役 高橋優(大字板倉1745-12F)を指定管理者として指定するものであり、指定の期間は、平成28年4月1日から10年間とするもの。

◆板倉町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の制定について  
地域再生法の一部が改正されたことにより、地域再生制度の支援措置が強化され、地方税の優遇措置を行うため、条例を制定するもの。

◆板倉町職員定数条例の一部改正について  
群馬東部水道企業団の設立により、板倉町水道事業が廃止されるため、公営企業管理者の事務部局の職員定数を削減し、町長部局と教育委員会部局の職員定数を見直し、実職員数と条例定数との差を減らすため、条例定数を180人から165人とするもの。

現在、公営企業職員は3人いるが、条例上の定数は10人となっている。今回削減するのは、条例で定める10人となる。また、課の名称については、現在、環境水道課ということだが、経過措置的な対応として、今年度はこのままでの対応を考えている。

# 平成28年度予算を全会一致で可決 総額102億2,980万円

板倉町議会基本条例の制定とあわせて設置した予算決算常任委員会において、昨年同様に4日間の日程で集中的に、平成28年度における一般会計及び特別会計の予算審議をおこないました。紙面では、予算決算常任委員会での主な予算審議の質疑応答についてお伝えします。



平成28年度予算

会計区分	本年度	前年度	
一般会計	64億2,200万円	53億5,000万円	
特別会計	後期高齢者医療	1億3,340万円	1億3,611万円
	国民健康保険	22億5,968万円	22億1,316万円
	介護保険	12億2,853万円	11億4,028万円
	下水道事業	1億8,619万円	1億8,062万円
合計	102億2,980万円	95億7,308万円	

## 一般会計64億2,200万円

### 支出の主な内容

- 総務費 16億8,954万円
  - ①庁舎建設事業 ②防犯灯LED化事業 ③通学路等防犯カメラ設置事業 ④産業施設及び商業施設誘致促進奨励事業
- 民生費 18億4,693万円
  - ①臨時福祉給付金給付事業 ②年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 ③子育て支援金給付事業
- 衛生費 7億865万円
  - ①がん対策強化推進事業 ②産後ケア事業 ③健康推進エンジンジョイポイント事業
- 農林水産業費 2億8,432万円
  - ①農業基盤整備促進事業 ②小規模農村整備事業 ③離交換分合事業
- 商工費 7,582万円
  - ①板倉ニュータウン商業用地利用活用検討調査事業 ②企業立地促進事業
- 土木費 5億8,514万円
  - ①町単独道路整備事業 ②八間樋橋整備事業 ③橋梁長寿命化事業
- 消防費 2億7,776万円
  - ①館林地区消防組合負担金 ②防災対策事業
- 教育費 5億3,307万円
  - ①中央公民館大ホール天井等改修事業 ②海洋センター照明LED化事業
- 公債費 3億2,024万円
  - ①長期債償還元金及び利子

## ◆予算決算常任委員会（新年度予算審議）

### 【予算審議】

予算決算常任委員会を4日間設けて、新年度予算を集中的に審議しました。

28年度予算の使い道各課・局から新規事業及び重点事業を中心に質疑応答を行い、委員会採決



### 新規事業・重点事業を時間をかけて予算審査

#### 福祉課

##### 島田議員

児童クラブ送迎車両の購入とあり、南小学校区の子どもたちがみつばち児童クラブに行けるようにするというものだが、南小学校区の子どもたちは、今後みつばち児童クラブの方に変更されるのか。

##### 福祉課長

現在、そらいる児童クラブに行っている子どもたちについては、どちらにするかを意向調査させていただいた。そらいる児童クラブに待機児童があるので、今後調整をしながら、適宜対応していきたい。

##### 市川議員

障害者虐待一時保護支援委託料とあるが、町の状況を伺いたい。また、手話奉仕員養成研修事業では、研修を受けて修了された方は、どのような場面で活躍されているのか伺いたい。

#### 社会福祉係長

障害者虐待一時保護支援委託を使うような虐待は、現在のところ起きていない。また、手話奉仕員養成研修事業については、昨年度から社会福祉協議会に委託しているが、町単独での開催が難しいということ、館林、明和と共同で開催している。町内で手話を広めてもらうことが目的なので、特別に活躍の場を設けている訳ではない。

##### 亀井議員

児童クラブの施策業務委託料に開設日数基本額とあり、児童によって差があるが、児童数によるものか。また、長時間開設加算額とは何か。

##### 子育て支援係長

開設日数基本額については、児童数の違いによるものと児童ごとの開設日数の違いによるものであり、長時間開設加算額とは、1日8時間を超える時間に対しての加算額というものである。

#### 教委事務局

#### 延山議員

中央公民館の大ホール天井等の改修工事については、町民文化祭までに終了したいということだが、工事はいつから開始されるのか。また、工事期間中における安全対策と利用者の対応については、どのように考えているのか伺いたい。

##### 中央公民館長

工事期間については、6月から9月までの3か月間を予定しており、安全対策としては3階の全てのフロアを立ち入り禁止とすることで考えている。また、利用者については、他の公民館の利用ということも含めながら、早めに周知することに対応したい。



▲天井等が改修される中央公民館大ホール

総務課

荒井議員

投票システムを新たに導入するところがあるが、今までと何が違って、どういった効果があるのか。

行政安全係長

これまで投票所で入場券を預かり受付後、係員が紙の台帳により名簿対照をしていたが、本システムの導入により入場券に記載されたバーコードを読み込むことで済むようになるため、名簿対照に要する時間が短縮され、投票がスムーズにできるようになる。

青木議員

防犯灯LED化工事費に鋼管ポール新設費150本とある。これまでも防犯灯の新設について要望してきたが、本事業の中で150箇所を新設するということなのか。

行政安全係長

鋼管ポール新設費については、既設の木柱のものや老朽化が著しいものを交換するための予算である。新設について



▲LED化が予定される防犯灯

黒野議員

防災備品の非常用電源を1台は新規、もう1台は入れ替えとのことだが、発電機はエンジンなので定期的に動かさないと使えなくなってしまう。最低月に1回は始動させる必要があると思うがどうか。

行政安全係長

これまで年に2回程度の点検整備ということで始動させていた。今後は点検の頻度を多くして、常に使える状態を確保していきたい。

今村議員

中で検討し、策定されるものと考えている。

亀井議員

橋梁長寿命化に関連したところで、谷田川に架かる沈下橋については、改修して観光に利用していくことはあるのか。今後の対応を伺いたい。

都市建設課長

沈下橋については、現状橋が曲がっているため危険である。重要な文化的景観の構成要素にもなっていることを考えると、町の教育委員会が相当の費用をかけて修繕するのかもしれない。道路を管理する担当課としては、現状を維持して通行止めのみとしていく。



▲橋が曲がり通行止めの沈下橋

予算決算常任委員会（新年度予算審議）

都市建設課長

負担金については、市と町における面積割と人口割により算定しており、今後については、1市4町で協議会のよくなものを立ち上げて、その

都市建設課

針ヶ谷議員

都市再生特別措置法の改正により、館林市を中心に周りの4町が合同で人口減少、高齢化社会に備える方針を策定するため、広域立地適正化計画策定事業の負担金として210万円を計上している。その算定方法と方針策定への対応について伺いたい。

総務課長

以前から防災無線などの整備について検討を要望してきたが、平成28年度予算に調査費さえ計上されていない。今後どのようにしていく考えなのか伺いたい。

企画財政課

小森谷議員

まちづくり協働事業補助金を10万円から30万円ということで3倍としているが、町として今後どのように事業を展開していきたいのか伺いたい。

企画財政課長

継続事業として3年間実施してきたということ、予算を3倍にしたということもあるので、活動内容についての

産業振興課

本間議員

町の新しい観光スポットとして、群馬県、埼玉県、栃木県の三県境がある。現地を訪れると水路に境があるだけなので、体験的に県境を感じられない。カラータイルを敷くなどしたらどうか。

産業政策係長

三県境については、栃木市が発起人となって加須市と本町の連携により決定した。現在、観光担当レベルでどのように活用していくことがよいのか協議しているところである。

環境水道課

小森谷議員

館林市、明和町、板倉町の1市2町によるごみ処理の広域化に伴い、資源化センターでのごみ処理については、堆肥化されるまでの期間等を考慮して、12月末で停止するが、1月から3月までのごみ処理についてはどのようなのか伺いたい。



▲12月末で停止となる資源化センター

環境係長

1月から3月までに出るごみを700トンと見込んでいます。その処理については、民間会社に外部委託する計画で

健康介護課

延山議員

健康は体を悪くして気づくものである。高齢者は最も大事なことだと思いが、若い人への働きかけも必要である。健康増進事業として、今年度の違いは何か伺いたい。

健康推進係長

平成28年度から公民館や海洋センターと連携して、健康づくりへの関心を持ってもらうため、健康推進エンジンポイント事業を開始する。若い方への働きかけとしては、乳児健診に来た母親に対して、乳ガン検診の受診を促すなどの対応をしている。

針ヶ谷議員

本人の介護予防に対する講習会や研修会をよくあるが、介護する側に対するものがない。事前に知識を身につけておくことも必要かと思

戸籍税務課

小林議員

歳入として、国有資産等所在市町村交付金とあるが、それはどのようなものなのか伺いたい。

資産税係長

国や県が市町村に固定資産を所有している場合、固定資産税として納めてもらうのではなく、国有資産等所在市町村交付金に基づき、交付金という形で交付してもらうものであり、渡良瀬遊水地、県営住宅、県企業局のソーラーパネルなどがある。

委員会採決

予算決算常任委員会では、平成28年度一般会計及び特別会計予算の全ての議案について、原案どおり可決すべきものとして決定しました。なお、最終日の議会定例会本会議において、原案どおり可決決定しました。

黒野議員

農地防災遊水池除草委託料



▲群馬県、埼玉県、栃木県の三県境

一般質問

議会2日目 3月4日(金)

① 荒井 英世 議員

板倉町の地域ブランド形成に向けて、新たな価値と魅力を発掘しよう！



町の最上位計画である中期事業推進計画と総合戦略との関連は

問・総合戦略の実施事業を計画するに当たって、中期事業推進後期計画をどのように反映したのか。

答・企画財政課長 中期事業推進後期計画は平成28年度から平成31年度までの計画で、全体で223事業ある。総合戦略は91事業であるが、全て中期事業推進後期計画の中に含まれている。



▲第一次板倉町中期事業推進計画

答・企画財政課長 総合戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの間で、91事業全て平成28年度予算に計上したということではない。

総合戦略における検証体制は

問・住民・NPO・関係団体等による検証組織を設置すると聞いているが、いつ頃設置する予定なのか。

答・企画財政課長 今のところ検討していないが、平成28年度中には設置したい。

問・「関東どまんなかサミット会議」等の観光を中心とした広域連携の進捗状況は。

答・企画財政課長 「関東どまんなかサミット会議」は、観光面を中心とした連携事業は実施していない。今後、交流を深める中で検討したい。

問・総合戦略の中で新規事業として「健康づくり推進員の設置」があるが、その内容は。

答・健康介護課長 平成28年度から2年間の任期で、各行政区に2名を置く。

問・歴史遺産や文化の価値や経済効果、新たな魅力の発掘と観光資源としての可能性を探るプロジェクトチームを編成する考えは。

答・産業振興課長 県の観光物産協会と連携を図る中で、東武鉄道の観光担当者との観光として何が役にたつか検討しているが、雷電神社等の歴史遺産を今後PRしていく中で、先ほどの組織ができるかどうか、検討したい。

問・足尾鉍毒問題に係る田中正造関連の史跡と渡良瀬遊水地を「日本遺産」に認定する動きがあるが、板倉町の考えは。

答・教育委員会事務局 日本遺産認定をめざす会が設立されているが、板倉町等遊水地周辺自治体は入っていない。「めざす会」でストーリーを考え、各市町に提案し申請は各自自治体で行うので、当町としては、状況を見ながら対応していきたい。



▲日本遺産認定への動きのある「渡良瀬遊水地」

◆一般質問

一般質問

議会2日目 3月4日(金)

② 本間 清 議員

よりよい町民サービスをめざした役場窓口対応に



役場窓口対応について

問・役場窓口で町民との対応でトラブルやクレームになることはあるのか。

答・総務課長 役場窓口に来庁される町民との間でトラブルと言われるものはないが、職員の言葉や態度、説明自体や処理の仕方が間違っていた場合、うまく受けとめられなくて、行き違いになることはある。その場合は相手の話しをよく聞いて、わかりやすく説明し、それでも納得されない場合は、すぐに係長、課長が対応し、もう一度細かい

事情を聞いて、不愉快に思われた町民の方に理解、納得していただけたら、懇切丁寧に説明し、公の役場の立場として、町民の福祉向上も含め、サービスに徹底し、しっかりと丁寧な礼を失しない対応を求めている。



▲役場第二庁舎窓口の様子

福祉課窓口対応について

問・福祉課窓口対応は相談内容や事情もそれぞれ違うと思うが、プライバシーに関したことも含め、対応はスムーズに行われているか。

答・福祉課長 最近では児童虐待や子育て支援に関する相談、生活困窮者の相談も多くなっているが、これと言ったトラブルはないと自負している。個々の状況や意向をよく聞くことに時間を費やしている。窓口での相談が適切でない場合は、別室において対応し、どの窓口対応についても住民の立場や思いを酌みながら、きめ細やかなサービスを心がけている。

女性職員の働きやすい職場とは

問・女性職員の働きやすい職場にするため、どのような対応や配慮をしているのか。

答・総務課長 女性職員の働きやすい職場とは、一般的に3つのキーワードがあると思う。一つ目は女性性であるから、子どもの出産後に仕事を続けられるかと言うことだが、これは育児休業、部分休業により、仕事復帰が可能である。二つ目の給与と待遇は、男女関係なく評価しており、平等であると考えられる。三つ目の出世は、係長以上の管理職もおり、能力があれば昇進もでき、女性にとり働きやすい職場であると考えている。なお、心理的な支援、セクハラ防止、うつ病にならないようメンタル面も含め、よりよい職場環境づくりに配慮している。

職員の対応力を向上させるには



問・職員の対応力を向上させるため、どのような研修や配置替えをしているか。

答・総務課長 年間計画のつとめ、職場での研修、職場外での研修、自身自身の研修と具体的な仕事を通して、その職務に必要な知識や態度など習得させ、能力を高めたが人事や異動の配置転換も適材適所に努めている。また、やりくりで少し難しい面もあるが、民間等での研修も大事であると考えている。

一般質問

議会2日目  
3月4日(金)

③ 島田 麻紀 議員

交通安全と利便性、  
そして福祉政策をどう位置づけるか



交通事故被害者（交通遺児）等の援助措置の考えは

問・板倉町と千代田町を除く1市3町では、交通遺児支援金制度がある。我が町も支援の考えは。

答・福祉課長 支援金制度については、ご指摘のとおり1市3町で実施している。また、全国では国土交通省の交通遺児等育成基金、群馬県内では佐藤交通遺児福祉基金がある。本町については、今後、検討していきたいと考えている。

問・町内における返納状況及  
高齢者運転免許証  
自主返納支援事業について



▲月500円のシニアバスが発行される公共バス

答・総務課長 町の体制としては、交通事故に限るものだけでなく、全体的な法律相談ということで顧問弁護士を頼んでいる。また、群馬県が行っている交通事故相談所が前橋市の県庁内に設置してあり、高崎市、太田市には、日弁連の交通事故相談センターがある。いずれも専門的な知識を有する相談員や弁護士の方が無料で示談や損害賠償、過失割合など、交通事故におけるあらゆる相談を受け、交通遺児に遭われた方が安心して相談できるようなっている。

答・総務課長 平成26年度に19名、平成27年度は2月1日までに14名、約2年間で33名の方が自主返納している。返納後の交通支援策として、一つに自主返納された70才以上の方に對して福祉タクシー利用券24枚の交付がある。ただし、有効期限は

2年間となっている。もう一つが、現在は無料となっており、平成28年4月1日から1000円に料金改定となる公共バスがある。料金改定については1市4町の中の改定となるが、なるべく負担をかけないような支援策として、シニアバスを1か月500円で発行することになっている。

問・70歳以上で免許を自主返納された場合、福祉タクシー券として500円券を24枚交付するということだが、毎年交付するの

答・健康介護課長 福祉タクシー券の交付は、返納された際に一度限りとなっている。

幼稚園、保育園、認定こども園における多子世帯への保育料軽減制度について

問・幼稚園、保育園等の保育料の算定はどのようにしているのか。

答・福祉課長 幼稚園は1号認定、保育園は2号、3号認定が主となり、国の



◆一般質問

一般質問

議会2日目  
3月4日(金)

④ 小林 武雄 議員

通学路の安全・安心を目指し  
防犯カメラの増設を



地域の見守りに  
防犯カメラを

問・防犯カメラは、各種犯罪の発生の抑制と迅速・的確な対応や犯罪解決に役立つことで、各自治体で幹線道路や商店街に設置するところが増えている。防犯カメラの計画的な設置は、住民の願う安全・安心な町づくりにつながると思う。当町の防犯カメラの設置推進は。

答・総務課長 平成19年度から設置を始め、現在町民の森駐車場・板倉東洋大前駅・小中学校・保育園

問・今回設置する防犯カメラの機種は。

答・総務課長 「e自警カメラ」といい、カメラ自体は群馬県警と群馬大学工学部が共同開発したものであり、県内の多くの自治体で使用している。

ふるさと納税の  
拡充と推進を

問・ふるさとで生まれ育ち、いざ働き出すと都会に出て行き、そこで納税するという現実があり、その格差は正のために国が作った制度であるが、当



▲町内に設置してある防犯カメラ

町における、ふるさと納税の収支実績は。

答・企画財政課長 平成21年度からの合計となるが、件数は354件、寄付額は893万5千円、記念品等の経費が84万5千円、差引すると809万円の収入となる。

問・認知症は早期に見出し、適切に対応することが病状の進行を遅らせること

答・企画財政課長 返礼品として贈呈する商品やサービスを提供していた、多く募集し、商工業関係者と連携を取り、本町の特産品のPR販売促進及び地域経済の活性化等の相乗効果を図りたい。

認知症支援体制の充実を

問・当町の返礼品はコシヒカリと商品券となっているが、千代田町や明和町では地元企業からの募集により、返礼品の充実を図っている。当町の取り組みは。

答・企画財政課長 町内の方が板倉町に寄付していた、町の情報紙、ホームページ等に情報を掲載していきたい。また、インターネットによるふるさと納税の専用ウェブサイトに、全国の方から、ふるさと納税しやすい環境を整備していく。

問・第1子の上限を撤廃して欲しいとの声が多いが、その考えは。

答・福祉課長 本町は国の基準どおりやっている。今のところ小学校3年生までとなっている、それを撤廃ということについては、色々な施策を展開してきた中で、その時期が来たら対応したい。

問・認知症の認定者数及び対応策は。

答・健康介護課長 介護保険の認定者が662人、内認知症の病状をお持ちの方は382人で、57.7%となっている。認知症になった方への取り組みについては、地域包括支援センターでの対応、適切な医療とか介護サービスを利用いただくような助言、紹介をしている。また、今後の対応となるが、認知症に対しての集中支援チーム・地域支援推進員等を介護保険制度の中で設置していくことを考えている。



# 税制・財政の適格な情報発信で「市町村民税は全国一律課税」の周知徹底を



予算計上の算出根拠について

問・税収の中で、個人町民税と固定資産税が、当初予算計上額と決算額に大きな差額を例年生じている。当初予算計上に当たっての算出方式、例えば収入見込み額に対して85%とか、90%とかの算式があるのではないかと。戸籍課長 個人町民税の予算を立てる上では、前年度の数字を基本に2月16日から3月15日までの確定申告の情報や不確定要素もある程度見込んで当初予算を組んでいる。固定資産の土地・

予算計上の算式について

問・前年度のデータだけでなく、3年、5年前も収入見込み額に対して90%前後の数字が当初予算に計上されている。算式があつて、その算式に基づいて予算計上しているのではないかと。戸籍課長 例年、不確定要素があるというところで、そういう部分も見て収入見込み額の90%を当初予算に組んでいる。

当初予算額と決算額の整合性について

問・「収入は少な目、支出は多目」が財布を預かる立場にある者の基本姿勢であることは理解できる。しかし、依存財源を除いた個人町民税と固定資産税が中心の市町村財政は国家財政と違って、景気変動の影響が少ない仕組みになっている筈である。中でも、板倉町財政



場にある者の基本姿勢であることは理解できる。しかし、依存財源を除いた個人町民税と固定資産税が中心の市町村財政は国家財政と違って、景気変動の影響が少ない仕組みになっている筈である。中でも、板倉町財政

は、法人町民税の割合が小さいので、当初予算額と決算額を近づけることができるのではないかと。企画財政課長 予算編成の際、歳入については必ず歳入が見込める額、歳出については最大の数字を使うことは、財政を預る身としてはやむを得ないと判断している。今後も、財政運営の原則である歳入は必ず見込める額、歳出は最大の数字を使って、持続可能な健全な財政を目指していきたい。

答・町長 当初予算額と決算額の乖離が大き過ぎるのではないかと指摘、昨年度を例にすれば52億円の当初予算が、58億円の決算額となつている。議員指摘の方向に努力していきたい。

（意見）個人住民税は全国一律課税への理解、普及に

○「わかりやすい予算書」「いたくら広報」「議会だより」

## 人事案件

◆板倉町選挙管理委員及び補充員の選挙について  
町の選挙管理委員及び同補充員が平成28年3月17日に任期満了となるため、選挙管理委員会から町議会に選挙を求められたため、議会の指名推薦により、次の方が当選人となりました。

- ◎選挙管理委員
  - ①大橋 登さん（板倉）
  - ②川野辺純一さん（岩田）
  - ③山内 正充さん（朝日野）
  - ④小野田國雄さん（大高嶋）
- ◎同補充員
  - ①田部井 治さん（板倉）
  - ②奥澤 洋二さん（西岡）
  - ③稲村 茂さん（飯野）
  - ④高山 弘文さん（海老瀬）

◆人権擁護委員候補者の推薦について  
人権擁護委員については、法務大臣が委嘱するものです。委員の推薦については、議会の意見を聞いて推薦することとなっているため、次の方の推薦について同意しました。

- 江田 常一さん（海老瀬）
- 齋藤 雅也さん（大高嶋）

## 陳情

◆板倉町教育委員会委員の任命について  
町の教育委員である小島正盛さんの辞任に伴い、次の方を任命することに同意しました。  
小島 勝行さん（西岡新田）

町道3183号線外の拡幅整備、町道3123号線の拡幅整備、町道1134号線の拡幅整備、町道5090号線の拡幅整備及び町道2329号線の拡幅整備について  
3月3日議会初日、産業建設生活常任委員会へ付託された陳情5件について、委員全員による現地調査を行い、関係者からの説明を受け、慎重なる審議を行った結果、議会最終日に行った委員長報告のとおり、陳情の全てが採択となりました。

◆町道3183号線外の拡幅整備について  
審査結果 採択  
審議内容 地域住民の生活道路であり、現況幅員が2・5メートル程度と狭く、消防車等の進入に支障を来すことが想定される。



▲町道3183号線外の現地調査

また、沿道地権者の同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第12行政区 区長 小野裕生

◆町道3123号線の拡幅整備について  
審査結果 採択  
審議内容 地域住民の生活道路であり、現況幅員が2メートル程度と狭く、さらに片側に素堀の水路があることから、自動車等のすれ違いに支障を来すことが想定される。また、沿道地権者の同意もあることから採択となりました。

また、現状必要な用地の確保については、地権者の寄付による同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第6行政区 区長 田村吉藏

陳情者 第12行政区 区長 小野裕生  
◆町道1134号線の拡幅整備について  
審査結果 採択  
審議内容 元の国道354号線から浮戸集落へ入る重要な道路であり、児童の通学路としても利用されているが、幅員が狭く、緊急車両等の通行に支障を来すほか、大雨による道路の冠水が想定される。また、沿道地権者の同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第26行政区 区長 飯島俊典

◆町道5090号線の拡幅整備について  
審査結果 採択  
審議内容 地域住民の生活道路であり、現況幅員が2メートル程度と狭く、緊急車両等の進入に支障を来すことが想定される。また、現状必要な用地の確保については、地権者の寄付による同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第6行政区 区長 田村吉藏

また、現状必要な用地の確保については、地権者の寄付による同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第6行政区 区長 田村吉藏



▲町道2329号線の現地調査

◆町道2329号線の拡幅整備について  
審査結果 採択  
審議内容 地域住民の生活道路であるが、隣接する圃場に排水路がなく、大雨時には道路が冠水してしまい、自動車等の通行に支障を来すことが想定される。また、現状必要な用地の確保については、地権者による寄付の同意もあることから採択となりました。  
陳情者 第14行政区 区長 和田利男



# 議 会 日 誌

## ◆2月

- 2日 臨時議員協議会
- 5日 邑楽郡内町議会議員研修会
- 8日 群馬東部水道企業団第1回定例会
- 10日 百寿者慶祝訪問
- 12日 板倉中学校立志式
- 16日 板倉町認定農業者協議会と町議会の意見交換会
- 19日 議会運営委員会／議員協議会／議員全員協議会
- 23日 例月出納検査

## ◆3月

- 1日 板倉高校卒業式
- 2日 農産物直売所指定管理者選定委員会
- 3～18日 3月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会、所管事務調査)、議員協議会、議会広報特別委員会、議会運営委員会、臨時議員協議会、議員全員協議会
- 11日 板倉中学校卒業式
- 24日 町内小学校卒業式
- 25日 町奨学資金貸与審査委員会／邑楽郡議長会定期総会
- 28日 板倉・北保育園卒園式  
議員全員協議会／役場庁舎建設委員会
- 29日 例月出納検査
- 30日 一部事務組合議会定例会

## ◆4月

- 3日 板倉消防団辞令交付式
- 5日 板倉・北保育園入園式
- 7日 町内小学校・板倉中学校入学式
- 8日 板倉高校入学式
- 12日 議会運営委員会／議員全員協議会
- 15日 議会広報特別委員会
- 21日 臨時議会、議員協議会、議員全員協議会
- 27日 例月出納検査
- 28日 群馬東部水道企業団創立記念式典

### 平成27年度の出生数56人を知って 議長 青木秀夫

#### 議長室エッセイ

平成27年度の板倉町の出生数56人を知る。マスコミをはじめ、いろいろな場で少子化問題が論議されているが、56人は衝撃的数字である。少子化の現実を受け止めなければならない。板倉町の過去の出生数を調べると、町制施行時の60年前(昭和30年)の出生数が386人、40年前(昭和50年)が268人、20年前(平成7年)が159人、昨年(平成27年度)が56人と、一連の急激な少子化は、様々な問題を考えさせられる。先の国勢調査で、日本社会が人類史上初の人口減少社会に突入していることも証明されている。飢饉、戦争などで一時的な人口減少はあっても、本格的な人口減少社会を、これから経験することになるのである。

前人未到の人口減少社会には、不透明な見通しと手探りの対応策しかないと思うのです。しかし、人類は状況に応じて生き抜いてきた何千年の歴史、実績があるのです。人口減少社会にあっても、様々な困難や危機を乗り越えていく能力・知恵を持っていると思う。将来不安を煽る情報には、惑わされないことです。ただ、平成27年度の出生数56人は、将来へ向けて行政のみならず、社会全般のシステムを変えざるを得ないことを明示していると思うが。



## ◆認定農業者協議会との意見交換会

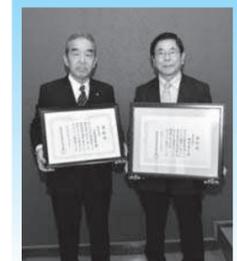
◆認定農業者協議会と町議会議員との意見交換会開催  
2月16日(火)、中央公民館で会場に認定農業者協議会と町議会議員との意見交換会が開催されました。意見交換会の冒頭に、認定農業者協議会の小林会長は、「個々の農業者が経営を発展させることで、それが地域の農業につながり、また今後、世界に対してどのように対応していかなければ

ならないかなど、認定農業者協議会の役割はいろいろある。」と話され、事前に用意された検討課題について、意見交換を行いました。  
◆検討内容  
①大雨を想定した導水路の整備について ②企業誘致と河川の水質対策について ③農業後継者不足対策について ④農作物のブランド化の推進について



## ◆板倉高校教育環境対策特別委員会を開催

1月29日(金)、板倉高校において、板倉高校教育環境対策特別委員会が開催されました。教職員から高校の現状についての説明を受けたのち、意見交換などを行いました。



## ◆県町村議会議長会表彰

「群馬県町村議会議長会自治功労者表彰」を議長職4年以上で野中嘉之前議長が、議員10年以上で小森谷幸雄議員が受賞されました。今後とも町政発展のため、なお一層の活躍をご期待いたします。

## 館林市・板倉町合併協議会の設置を可決

4 / 21 (木)  
臨時議会

平成28年第1回板倉町議会臨時会が4月21日(木)に開催され、専決処分事項の承認2件については、全会一致で可決され、館林市・板倉町合併協議会の設置議案については賛成8、反対3で賛否が分されました。



### ◆議案第29号 館林市・板倉町合併協議会の設置について

〔議案内容〕 館林市・板倉町の合併に関する協議を行うため、規約を定めて館林市・板倉町合併協議会を設置することについて、議決を求めるもの。

#### 【反対討論要旨・荒井議員】

法定協議会の設置は、合併が前提であり、合併の準備をする機関である。単に合併の判断材料を求めるなら、法に制約されない任意協議会等で検討すべきである。当町には、歴史・文化を始め近隣にはない地域資源がある。合併について検討するより、こうした地域資源を活用し、町としての「地域ブランド」を構築することが最優先の課題であると考えます。

#### 【賛成討論要旨・延山議員】

1市1町の法定協議会設置は、合併に向けての協議が始まる入口である。合併については、背景に少子高齢化、人口減少により町への財政負担の増大や行政サービスの低下を懸念するもの。町民にとって何が大事なのか、メリット、デメリットの比較だけを論じるのではなく、本町の長期的な将来を見据える重要な局面と考える。

#### 【反対討論要旨・小森谷議員】

平成の大合併は期待された住民の福祉向上にならなかった。今回の一市一町の合併は当町の課題を解決する手段にはならない。新庁舎建設、小学校再編統合、資源化センターの跡地利用などの諸課題の解決は、合併した時には益々困難になると思われる。ニュータウンの企業誘致活動はようやく軌道に乗り、本町の財政運営上大きく貢献する時にも当たっている。

#### 【賛成討論要旨・市川議員】

合併協議会の設置は、住民発議であり真摯に受け止めるべき。自立して行政運営をしていくための財政力強化、コスト削減、多様化するニーズへの対応、人口減少、少子高齢化社会が加速する今日、未来を見据え、子供達につけを残さないことは、大事な責務である。子供

達や住民の幸せのため、町の発展のため、安全安心の確保のため、合併協議会の設置は必要である。

#### 【反対討論要旨・島田議員】

住民投票をすべきという考えである。アンケート結果は、全町民対象ではなく、一部の抽出された方によるもの。時間とお金はかかるがあえてやるべきだ。この合併協議会設置について、住民は新聞等で知り、町からの情報が無いなか、住民が置きざりのこのあり方を疑問に思う。住民主体の町づくりを切に願いたい。

#### 【賛成討論要旨・青木議員】

法定合併協議会設置に賛成する立場から合併反対論者の指摘する不安、心配に以下のような理由で反論する。  
(1)「税金が高くなる」との心配は誤解である。市町村民税は、板倉、明和、館林、横浜、全国一律課税である。  
(2)「役場が遠くなって不便になる」との不安も誤解で、合併後も総合支所方式で、窓口の行政サービスは従来どおり受けられる。

#### 【賛成討論要旨・針ヶ谷議員】

想像を超えない情報と時間的制約を受ける中で住民投票を行うことはいたって乱暴である。協議会の中で町民の意見を話し合いの場に挙げてもらい、結果を明らかにしながら精査していく必要があると考える。協議の内容を踏まえ、町民の判断を仰ぐべきである。

#### 【賛成討論要旨・亀井議員】

合併協議会を設置すれば、館林市と板倉町の良いところ悪いところが分かる。良いところは更に伸ばし、悪いところは改善すれば良い。外から見ると良いところや悪いところが良く見えるのではないかと思う。

議員氏名・議席順		小林武雄	針ヶ谷稔也	本間清	亀井伝吉	島田麻紀	荒井英世	今村好市	小森谷幸雄	延山宗一	黒野一郎	市川初江	青木秀夫	議決結果
議案第29号	館林市・板倉町合併協議会の設置について	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	賛成多数可決

※議会基本条例の施行に伴い、賛否が分かれた議案のみ結果を議会だよりへ掲載します。なお、議長は賛否同数の場合にのみ採決します。(○：賛成、×：反対)

路

線バスの充実を

安全で便利に暮らせる町へ



4月より、路線バスの経路や運賃が変更されました。役場の前にも停車するなど、利用者の多い施設での停留所の

朝日野 益子 恵さん

増設は、大変な難しいことです。図書館や各教室の利用のために中央公民館への停車、病院や医院に近い停留所の増設など、今後も検討いただければと思います。

また、シニアバスの販売は、現在、館林市内のバス会社窓口に限られており、バス利用者には不便に感じます。バス

の車内や役場、各公民館などで販売されれば、購入しやすくなり、バス利用者も増えるのではないのでしょうか。

高齢者ドライバーの交通事故が社会問題となっている。今、車がなくても便利に暮らせる町を目指して、路線バスが、さらに充実していくこと期待しています。

大

自然を生かした板倉町の活性化

町の特性・資源を生かした町づくり

大字大高嶋 矢嶋正樹さん



板倉町は板倉東洋大前駅から1時間で東京へ行けるなど首都圏へのアクセスも良く、また水と緑に囲まれ自然に恵

まれた町です。その中でも渡良瀬遊水地は、2012年7月3日にラムサール条約に登録され、国際的にも有名な場所です。

渡良瀬遊水地では美しい景色を見ながらのマラソン大会やヨットやカヌーなどのウォータースポーツ、気球やスカイダイビングなどのスカ

イスポーツなど多種多様に見て遊べる観光地であり、町全体でPRをしながらアピールを行い渡良瀬遊水地を生かした町作りや観光事業に取り組むことが町の活性化につながると思っています。

今まで以上に、町にある良き特性良き資源を有効活用し魅力的な町作りに期待します。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”

議会の本会議は公開制となっています。会議当日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。なお、定例会は下記のとおり開催される予定です。

◆6月議会定例会（予定）

- 会期 6月7日(火)～6月15日(水)
- 議事 (1) 条例改正などの議案審議・採決
- (2) 補正予算の審議・採決
- (3) 一般質問

※詳しい日程等については、町の広報紙6月号等でお知らせします。

お問い合わせ先 役場議会事務局 電話82-1111 内線511番

編集後記

わが家には生後2カ月でやって来た雑種犬がいる。もう14年になる。毎日判を押したように一緒に散歩しているが暖かな日差しの中、体を丸めつつたた寝している顔が、世界中の平和を独り占めしているようで、この何気ない日常の一コマを見るのがとても好きだ。この平穏な日々がいつまでも続くと思っていると、時はときに残酷な一面をのぞかせる。言葉にある永遠とは、人々の見果てぬ夢だとなる日気づかされる。それゆえ人は言う、だから一日一日を大切に生きなさいと。でも思う、歌にある「時の流れに身をまかせ」のように少し違った生き方もあるのではと：沈みゆく夕日に落ちたふたつの影に人生の黄昏を背負いながら、この道がどこまでもと今日も歩いている。

(議会広報特別委員 本間清記)